

学習課題(小学校3年生)



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

〈学習内容〉 ※ノートか取組シートに書きましょう。

◆「わたしたちの学校じまん」(教科書⑩116～120 ページ)に取り組めます。



今回は、「札幌市のじまん」を、札幌市に住んでいない人に向けて、理由をあげて話す学習に取り組めます。声の調子(音の高さ低さ)や強弱、間の取り方などに注意しながら話す力を身につけられるようがんばりましょう。

- (1) これまで札幌市でくらしてきた中で、じまんしたいことを考えます。できるだけたくさん見つけましょう。
(人気スポット、公園、しぜん、お店など…)
- (2) 札幌市に住んでいない人に向けて、じまんしたいことを一つに決めましょう。
- (3) (2)でえらんだ理由を二つ書きましょう。
- (4) じまんしたい理由をおうちの人に伝えましょう。かんがえた理由が、じまんしたいもののよさが伝わっているかどうか、意見を聞いてみましょう。
- (5) 理由がきまったら、発表するときに見せるしりょうを集めます。じまんしたいこととその理由をよりよくつたえるためのしりょうをさがしてみましよう。



しりょうは、パンフレットやインターネットのホームページからさがすこともできますね。学校の社会科でつかっているしりょうからさがすこともできます。

- (6) 119 ページ「発表のれい」をさん考に、「はじめ（自分の考え）」「中（じまんしたい理由）」「終わり（自分の考えのまとめ）」に分かれた発表げんこうを書きましよう。
※(3)で書いた理由を「中」に当てはめて書きましよう。自分が見聞きしたり、体けんしたりしたことを入れると、聞き手が引きつけられる発表げんこうに近づきます。
- (7) 発表の練習をしましよう。
※教科書 118 ページの二次元バーコードを読み取ると、はっぴょうのれいを動画で見ることができます。

～練習の仕方～

- ①いちばんつたえたいところは、強く言う。
- ②話す速さや調子、言葉づかいが正しいか考えながら話す。
- ③練習する中で気づいたことは、発表げんこうに書きくわえたり、書きかえたりする。



- (6) おうちの人に資料をみせながら、発表しましょう。発表が終わったら、感想を聞かせてもらいましょう。



おうちの人にそうだんして、さっぼろしにすんでいないともだちや、しんせきの人などに、はっぴょうをでんわなどできいてもらうこともできそうですね。

◆教科書⑩93 ページで学習する新出漢字（「勝」～「礼」）を練習します。

- (1) 156 ページを見て、ひつじゅんを指で書いておぼえましょう。
- (2) 読み方、使い方を声に出して言ってみましょう。
- (3) 出てきた漢字を使って、文を作り、ノートや取組シートに書きましょう。

【書写】これまで書写の学習に取り組んでいない人は取り組みましょう。

＜漢字の筆使い 小筆の使い方＞

- (1) 教科書 29 ページを読み、小筆の持ち方や「ほ」のほぐしかた、片づけ方について、たしかめましょう。
- (2) 教科書 29 ページの「すみのすり方」を読んで、すみをすってみましょう。
※スポイト 3～4 てきぐらいの水を、すずりの「りく」において、すってみましょう。
- (3) 教科書 42～43 ページを見て、名前を書く場所をたしかめましょう。

字と字の間を少し空けるんだね。そのうち苗字と名前の間は、広めに空けるといいんだね。



＜漢字の筆使い 曲がり＞

- (1) 教科書 26 ページを読み、曲がりの書き方についてかくにんしましょう。
- (2) 始筆、送筆、終筆をいしきして、27 ページのお手本を指でなぞってみましょう。
- (3) すみをつけていない筆をもって、27 ページのお手本を筆でなぞってみましょう。
- (4) 「元」をすみをつけて筆で書きます。26 ページの「たいせつ」も参考にして書きましょう。
- (5) 小筆を使って、(4) で取り組んだ半紙に自分の名前を書きましょう。
※習字道具の用意がむずかしい人は、鉛筆(えんぴつ)で書いてみましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「わたしたちの学校じまん」では、伝えたいことを組み立てや話し方を工夫して話すことを大切にしています。それらを意識しながら話していることをぜひ、認め、ほめてあげてください。
- ・今回の学習課題では、「札幌市に住んでいない人」に向けた内容を考え、発表する学習としています。可能であれば、札幌市以外に住んでいる親族や知人にお子さんの発表を聞いてもらえる機会をもつことができればと思います。
- ・書写の学習については、これまでの学習の中で取り組んでいないページがありましたら、ぜひ取り組むように声をかけてください。二次元バーコードを読み取ると動画で筆の運びなどを視聴することができます。
- ・半紙や墨など習字道具の用意が難しい場合は、硬筆の学習に取り組んでください。